

科目ナンバリング		U-LET25 36831 LJ36									
授業科目名 <英訳>		西南アジア史学(特殊講義) West Asian History (Special Lectures)				担当者所属・ 職名・氏名		人文科学研究所 教授 稲葉 穰			
配当 学年	3回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2019・ 前期	曜時限	水4	授業 形態	特殊講義	使用 言語	日本語
題目		イスラーム期ペルシアにおける君主鑑について									
[授業の概要・目的]											
西暦9世紀以降、イスラーム世界の特に東方においてイラン的伝統をも受け継いだ、君主鑑文学（世俗の王に対する忠告の書、助言の書）が書かれるようになる。本講義ではこのような現象をイスラームの東方拡大の過程の中で考察し、Islamicationと呼ばれるプロセスの一つの側面と位置づけた上で、イスラームが如何にして広域宗教、汎民族的信仰へと変容し得たのかを論じる。											
[到達目標]											
現代世界におけるイスラーム社会の重要性は改めて強調するまでもないが、一方でイスラーム社会の内部における多様性を十分に理解することは、ステレオタイプの思考に陥らないためにも必要不可欠である。本特殊講義においては、初期においていわゆるイラン世界が経験したイスラーム化の一側面を浮き彫りにし、イスラームがどのようにそれ以前の文化や伝統と接続し、そのうちに多様性を抱くようになったのかを考えることによって、よりダイナミックなイスラーム理解へと至ることを目標とする。											
[授業計画と内容]											
第1回 授業の狙いの説明 第2～4回 イスラーム化前夜の東部イラン社会の状況についての解説 第5～12回 君主鑑文学の出現（L. Marlow, Counsel for Kings: Wisdom and Politics in Tenth-Century Iranを題材に） 第13～14回 ペルシア・イスラーム文化の形成過程 第15回 まとめ											
[履修要件]											
特になし											
[成績評価の方法・観点及び達成度]											
平常点の評価（50%）と期末レポート（50%）で評価する。講義内容に関する文献を授業中に会読し、その内容を平常点として加味する。期末レポートについては到達目標の達成度に応じて採点する。											
[教科書]											
授業中に指示する											
[参考書等]											
（参考書） 授業中に紹介する											
[授業外学習（予習・復習）等]											
授業中に別途指示する											
（その他（オフィスアワー等））											
オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。											